

さいたま市文化財時報

かや  
 榎りぼーと  
 第16号

## 平成16年度 埋蔵文化財の調査

埋蔵文化財は地域の歴史や文化を理解する上で欠くことのできない貴重な財産です。さいたま市内には900ヶ所以上の埋蔵文化財包蔵地があり、包蔵地内で行なわれる土木工事に先立ち、予定地内の文化財の有無を確認する調査を実施しています。本年度は約200件の確認調査を行いました。個人住宅等の建築に伴う調査ではいずれも現状での保存が出来たため、市直営による発掘調査は実施しませんでした。民間事業に伴い現状保存が出来なかった埋蔵文化財はさいたま市遺跡調査会が、事業者から委託を受け発掘調査を行なっています。

本号ではこれらの調査成果を紹介します。

### 馬場小室山遺跡（緑区大字三室）の発掘調査

今回の発掘調査では縄文時代中期の住居跡9軒、後期の住居跡7軒、晩期の住居跡6軒、後～晩期の土坑30基と多量の土器・土製品・石器・石製品を発見しました。

特に調査区南側に存在した径30×20m、高さ1.5mほどの盛土部分には住居跡、土坑が累積しており、盛土の最上層で晩期の住居跡・土坑、中層で後期の住居跡・土坑、盛土下で中期の住居跡を発見しました。

また、土坑のうち2基は径3.8～4m、深さ3.5mほどの晩期の円形大土坑で、下層から完形・半完形の土器が10数個体出土しています。

さらに、特殊な出土遺物として、土偶約30点、土製耳飾り約60点、独鈷石2点、「の」字状垂飾品1点がありますが、その多くは住居跡・土坑から出土しています。  
 （さいたま市遺跡調査会 柳田博之）



▲馬場小室山遺跡の発掘調査状況

## 開発に伴う発掘調査

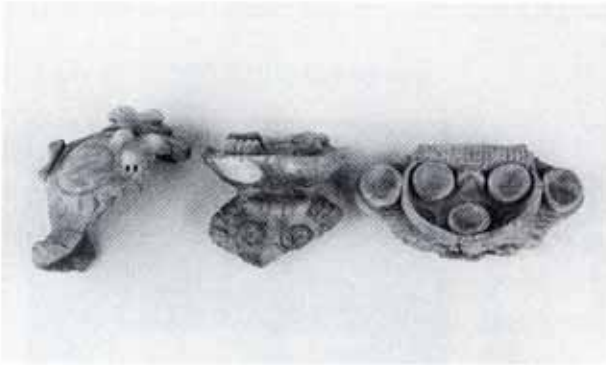
土地区画整理事業や民間の宅地開発事業などに伴う記録保存のための発掘調査を、さいたま市遺跡調査会が実施しました。

今年度の調査成果は次のとおりです。

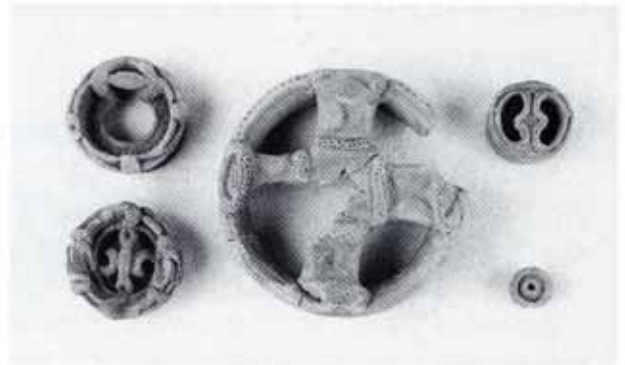
遺跡名	所在地	調査期間	発掘の成果	原因
ふだのつじ 札之辻3号遺跡	中央区鈴谷2丁目	3月3日～6月30日	古墳時代前期住居跡4軒・後期住居跡4軒・溝5条、切子玉	①
ふだのつじ 札之辻3号遺跡	中央区鈴谷2丁目	6月24日～7月15日	古墳時代後期住居跡2軒	①
ばんば おもろやま 馬場小室山遺跡	緑区大字三室	6月21日～9月30日	縄文時代中期住居跡9軒・後期住居跡7軒・晩期住居跡6軒、後晩期土坑30基	②
B-22号遺跡	北区土呂町	7月5日～3月1日	中世の土壘と堀、中近世の溝、弥生時代後期の住居跡2軒、古墳時代中期住居跡3軒など	③
おやしきやま 御屋敷山遺跡	中央区円阿弥2丁目	9月24日～11月11日	縄文時代前期住居跡1軒・中期住居跡3軒、古墳時代後期住居跡4軒、奈良時代住居跡1軒	②
みなみなかまるだい 南中丸台遺跡 かまがし かんはき 春日氏館跡	見沼区大字南中丸	11月1日～1月26日	縄文時代後期住居跡1軒、近世の溝・土坑	④
しものだほんむら 下野田本村遺跡	緑区大字下野田	10月13日～11月5日	縄文時代中期住居跡1軒、平安時代住居跡1軒など	⑤
しものだしなりほら 下野田稻荷原遺跡	緑区大字下野田	11月5日～12月17日	弥生時代後期～古墳時代前期住居跡13軒など	⑤
ほんちく 本全遺跡	桜区中島1丁目	10月19日～10月28日	古墳時代前期住居跡3軒	②
しろくわみやこし 白鍬宮腰遺跡	桜区大字白鍬	11月26日～12月7日	平安時代住居跡1軒	②
なかざとまきはらきた 中里前原北遺跡	中央区新中里1丁目	11月11日～11月24日	弥生時代後期住居跡2軒・方形周溝墓1基	②
ふだのつじ 札之辻3号遺跡 いまみや 今宮2号遺跡	中央区鈴谷2丁目	12月16日～3月15日	縄文時代早期住居跡1軒、古墳時代前期住居跡1軒、奈良時代住居跡2軒、溝6条、竪穴状遺構4基、井戸跡、土坑墓、火葬墓、土坑	①
なかお なかまる 中尾中丸遺跡	緑区大字中尾	1月24日～3月15日	縄文時代土坑14基など	⑥
なかお なかまるみなみ 中尾中丸南遺跡	緑区大字中尾	1月24日～3月15日	縄文時代土坑1基など	⑥
なかお みどりしまりがし 中尾緑島東遺跡	南区大字大谷口	1月6日～1月24日	縄文時代土坑3基など	⑥
なかお みどりしま 中尾緑島遺跡	南区大字大谷口	1月11日～3月7日	縄文時代土坑10基、平安時代住居跡1軒・土坑3基、中世地下式坑1基など	⑥

①南与野駅西口区画整理事業 ②民間開発 ③土呂農住特定土地区画整理事業

④台・一ノ久保特定土地区画整理事業 ⑤浦和東部第一土地区画整理事業 ⑥東浦和第二土地区画整理事業



▲縄文時代後～晩期の土偶（馬場小室山遺跡）



▲縄文時代後～晩期の土製耳飾り（馬場小室山遺跡）



▲縄文時代後期の住居跡（南中丸台遺跡）



▲弥生時代後期から古墳時代前期の集落跡  
（下野田稻荷原遺跡）



▲古墳時代後期のカマド跡（札之辻3号遺跡）



▲奈良時代の住居跡発掘調査状況（今宮2号遺跡）



▲平安時代の住居炉跡と出土遺物（中尾緑島遺跡）



▲中・近世の土壘と堀（土呂陣屋跡）

## TOPIC

### ● 第二回「さいたま市郷土芸能のつどい」を開催しました。

平成16年12月5日、大宮ソニックシティ小ホールにおいて、第二回「さいたま市郷土芸能のつどい」を開催しました。木遣歌、宿の祭りばやし、指扇の餅搗き踊り、南部領辻の獅子舞が披露され、それぞれ大きな喝采を浴びました。

隔年で行ってきた「郷土芸能のつどい」ですが、平成17年度以降は毎年の開催とし、4～5団体に披露していただきます。日程等は決まり次第、市の広報、市のホームページ、及び本誌でお知らせいたします。



### ● 一山神社冬至祭

平成16年12月21日、中央区の一山神社において冬至祭が執り行われました。

「柚子まつり」とも呼ばれるこの冬至祭は、一年間の穢れを祓い、新年の無病息災・家内安全を願って「火渡り」が行われます。多くの参拝者が素足で燗火の上を歩き渡り、柚子をいただいでいました。この柚子を用いた柚子湯に入ると、風邪を引かないといわれています。



### ● 日進餅つき踊り

新年を迎えた1月1日午前0時、北区の日進神社では日進餅つき踊りが披露されました。

大晦日に降り積もった雪で開催が危ぶまれましたが、大勢の方がつめかけ、小中学生を含めた総勢32名がかわるがわる舞台上に登場し、実際に餅を搗いたり、曲にあわせて技を披露しました。つきあがった餅は見学者に振舞われました。



### ● 文化財防火デー

1月26日の「文化財防火デー」にあわせ、文化財所有者をはじめ、地元消防団や近隣自治会の方々の御協力により、市内9消防署主催で6箇所の防災訓練と36箇所の消防設備点検を行いました。

## お知らせ

### ◆ 本年4月1日、さいたま市は岩槻市と合併し、新生「さいたま市」として出発します。

本誌でも、随時、岩槻地域の文化財をご紹介します。

### ◆ 南部領辻の獅子舞の公開

緑区南部領辻に伝わる勇壮な獅子舞が公開されます。

5月15日(日) 午前10時から 鷲神社境内(緑区南部領辻2941)  
午後1時から 村祈禱(鷲神社を出発し、南部領辻地区内を回ります。)

